

## 地域共創科学研究センター



### 東京都立大学 14 研究センター

本学の個々の研究水準は非常に高く、それぞれの分野で高い評価を受けています。  
これらの研究資源を有機的に結びつけ、「世界の頂点」となり得る研究分野の構築を目指すのが研究センターです。  
本学の使命である「大都市における人間社会の理想像の追求」に関する研究、部局に存在する研究、および部局を超えた学際的な研究の中から、卓越した研究実績があり、国際的研究拠点につながるものを探して設置しています。

- 宇宙物理学研究センター
- 生命情報研究センター
- 金の化学研究センター
- 水道システム研究センター
- 気候学国際研究センター
- ソーシャルビッグデータ研究センター
- 子ども・若者貧困研究センター
- 金融工学研究センター
- 水素エネルギー社会構築推進研究センター
- ナノ工学・メカノバイオロジー融合医工連携研究センター
- 超伝導理工学研究センター
- エネルギーインテグリティシステム研究センター
- 火山災害研究センター
- 地域共創科学研究センター

ご質問やご相談がございましたら  
下記へお気軽にお問い合わせください。

東京都立大学 総合研究推進機構

<http://tmu-rao.jp/>

042-677-2728

[ragroup@mj.tmu.ac.jp](mailto:ragroup@mj.tmu.ac.jp)

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1  
東京都立大学 南大沢キャンパス内 プロジェクト研究棟2F

2020年4月発行

## 地域共創科学研究センター





研究センター長 菊地 俊夫  
東京都立大学 都市環境科学研究科  
観光科学域 教授

「データサイエンスやサービス工学手法を通じて課題を見える化し、特定の地域実践モデルを他時点・他地域にも適用可能な方法論に取り組んでいます」

## 地域共創科学研究センター

### 地域や観光を科学的に捉える。

東京都立大学は、都市問題の研究実績が豊富であるだけでなく、国内では珍しい理系の観光教育・研究を展開する観光科学域があり、地理学、農学、環境学、都市計画、情報学といった理工学の理論や技術を駆使して、多面的・俯瞰的に地域や観光を捉えることに特徴があります。

### 多彩なデータを駆使して地域を診断し、 施策・事業立案に役立てる。

平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、国だけではなく全国の自治体单位で「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定・実施が義務付けられました。そのためには、科学的な根拠に基づき合理的かつ有効に計画が立てられなければなりません。しかしながら地域や観光・産業振興の施策を論じられる際には、経験、勘、思い込みといった要素が入り込むことが多いのが現状です。本研究センターは、ビッグデータやオープンデータを活用し、またGISや統計ソフト等を駆使してこれを見える化し、行政施策につながる視点での現状分析や将来予測を行っています。

### 実践からまちづくりにつなげる。

本研究センターは、誘客や交流を生み出す観光という手段を用いて、地域の多様な産業振興につながる形で観光振興を図り、地域経済の活性化を図ることも目指しています。そのためには、様々な地域プレイヤーや企業家達を一つのビジョンの実現に向けて進める事が必要であり、そのための手段・プロセスをデザインする方法論も発展させています。これらの研究成果を国や自治体、企業に役立てるための社会実装活動を進め、まちづくりを通じて大都市東京の更なる発展につなげていきます。



# 地域を共に創り出す。 科学的な視点で地域や観光をとらえ、

### 主な 研究プロジェクト・ スクールの運営状況

- **TAMA NEXTファーマーズ プログラム(H25開講:多摩信用金庫様と共に)**  
農業に経営の視点を取り入れることで「次世代の多摩地域の農業経営者を育成」し、様々な交流も通して次世代農業経営者のネットワークを築きます。(写真①)
- **地域創生スクール(H28開講:多摩信用金庫様と共に)**  
多摩の広域連携を主導できるような「スーパー自治体職員」を養成し、研修生が自治体を横断して交流するプラットフォームを築きます。(写真②)
- **サービスデザイン研究プロジェクト「d-COCOON」(H29開講:京王電鉄様協力)**  
サービス工学手法にデザインシンキングを取り込み、新たなオープンイノベーションとビジネスを生み出すプラットフォームを築きます。(写真③)
- **東京都観光経営人材養成講座(H29開講:東京都受託事業)**  
観光関連事業者の経営力を向上させ、経営の視点からサービス提供が出来る「高度観光専門人材」を輩出していくます。(写真④)



プログラム卒業生のOB農家への視察



RESASを用いた他自治体職員とのWS



様々なツールを用いたアイデア創出の場



先進的な取組み事例の視察と現地講義

### 研究主導 な実績 メンバ ーと社会 活動

- 菊地教授／国土交通省審議会会長（小笠原振興担当）、東京都観光審議会審議委員、東京都自然公園等の適正利用・管理検討委員会委員、日本オーガニック＆ナチュラルフーズ協会（JONA）認証判定委員会委員長 農林水産省畜産生産情報認証判定委員等。
- 清水教授／観光庁「観光統計を活用した実証分析に関する論文表彰 観光庁長官賞」受賞。公益社団法人日本観光振興協会 総合調査研究所所長、東京都 利用者の視点に立った東京の交通戦略推進会議 委員兼水辺空間活用ワーキング主査、観光庁 観光地域ブランド確立支援事業等検討委員会 委員、内閣府 地方創生推進室 RESAS委員等。
- 川原教授／「おおたオープンファクトリー実行委員会」のメンバーとして日本観光振興協会「第7回 産業観光まちづくり大賞」金賞受賞。NPO日本都市計画家協会 第4回 楠本洋二賞・優秀賞受賞。日本建築学会 都市計画本委員会「観光と地域プランニング小委員会」主査、日本都市計画学会 学術委員、日本都市計画学会 研究交流特別委員会 社会連携交流組織「モノづくり観光研究会（大田区）」等。
- 下村教授／第93期・日本機械学会 部門賞功績賞（日本機械学会 設計工学・システム部門）Outstanding Contribution, International Design Conference-Design 2016 (Design Society) (2016) 等。東京都中小企業支援のあり方検討会 委員、東京都プログラミング教育の在り方等に関する有識者会議 委員等。

### メンバ ー紹介

菊地 俊夫 教授	都市環境科学研究科 観光科学域	倉田 陽平 准教授	都市環境科学研究科 観光科学域
清水 哲夫 教授	都市環境科学研究科 観光科学域	直井 岳人 准教授	都市環境科学研究科 観光科学域
川原 晋 教授	都市環境科学研究科 観光科学域	矢部 直人 准教授	都市環境科学研究科 地理環境学域
下村 芳樹 教授	システムデザイン研究科 知能機械システム学域	片桐 由希子 助教	都市環境科学研究科 観光科学域観光科学域
饗庭 伸 教授	都市環境科学研究科 都市システム科学域	杉本 興運 助教	都市環境科学研究科 観光科学域観光科学域
朝日 しさと 教授	社会科学研究科 経営学専攻	高木 悅郎 助教	都市環境科学研究科 観光科学域観光科学域
市古 太郎 教授	都市環境科学研究科 都市システム科学域	太田 慧 特任助教	都市環境科学研究科 観光科学域観光科学域
伊藤 史子 教授	都市環境科学研究科 都市システム科学域	平田 徳恵 特任助教	都市環境科学研究科 観光科学域観光科学域
小根山 裕之 教授	都市環境科学研究科 都市基盤環境科学域	長島 剛 客員教授	多摩信用金庫 地域連携支援部長
沼田 真也 教授	都市環境科学研究科 観光科学域	Martin Philippss 教授	レスター大学
若林 芳樹 教授	都市環境科学研究科 地理環境学域	Mazlan Hashim 教授	マレーシア工科大学
渡邊 真紀子 教授	都市環境科学研究科 地理環境学域	Joy Sen 教授	インド工科大学カラグブル校
石倉 智樹 准教授	都市環境科学研究科 都市基盤環境科学域	Tuan Anh Vu 准教授	ベトナムドイツ大学
岡村 祐 准教授	都市環境科学研究科 観光科学域		